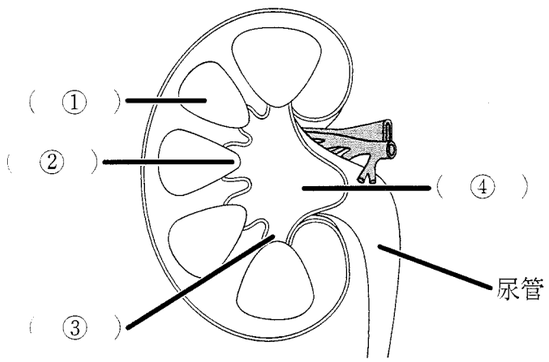
養護教諭　　その３

【教科専門】

2　次の各問いに答えよ。

1　次の図は、腎臓の内部の断面を示したものである。図の（　①　）～（　④　）の名称を下の(ア)～(カ)からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。



(ア)　腎乳頭	(イ)　皮質	(ウ)　腎盂	(エ)　髄質	(オ)　腎杯
(カ)　（腎）錐体底				

2　次の文は、腎臓に関わる疾患の症状等の説明である。この疾患の名称を書け。

蛋白尿や血尿が持続的にみられ、病気の進行とともにむくみや高血圧などの他に、腎臓の働きの低下がみられる病態を指す。学校検尿で最も多く発見されるIgA腎症では治療法の進歩によって予後が大きく改善している。しかし、適切な治療・管理が行われない場合には慢性腎不全まで進行するおそれがある。

3　次の文は、学校保健安全法施行規則の第７条７項である。（　①　）～（　③　）に当てはまる語句を書け。なお、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

７　前条第１項第10号の尿は、尿中の（　①　）、（　②　）等について（　③　）により検査する。ただし、幼稚園においては、（　②　）の検査を除くことができる。

3　平成22年に文部科学省が示した「子どもの心のケアのために－災害や事件・事故発生時を中心に－」について、次の各問いに答えよ。

1　次の文は、災害や事件･事故発生時における子どもの心のケアについての内容である。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を下の(ア)～(ク)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

災害や事件・事故に子どもが遭遇すると、恐怖や（　①　）体験などにより心に傷を受け、「その時の出来事を繰り返し思い出す」、「遊びの中で（　②　）する」などの症状に加え、「（　③　）」、「睡眠障害」などが現れ、生活に大きな支障を来すことがある。こうした反応はだれにでも起こり得ることであり、ほとんどは、時間の経過とともに薄れていくが、このような状態が（　④　）以上長引く場合を「外傷後ストレス障害「(Posttraumatic Stress Disorder)」(以下「PTSD」という。)と言う。

(ア)　摂食障害	(イ)　情緒不安定	(ウ)　模倣	(エ)　喪失
(オ)　危険	(カ)　再現	(キ)　４週間	(ク)　２週間

2　次の文は、災害や事件・事故発生時におけるストレス症状のある子どもへの対応について述べたものである。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を書け。

災害や事件・事故発生時におけるストレス症状のある子どもへの対応は、基本的には（　①　）と同じである。すなわち、（　②　）等により速やかに子どもの異変に気づき、問題の性質（「早急な対応が必要かどうか」、「医療を要するかどうか」等）を見極め、必要に応じて保護者や（　③　）等と連携を密に取り、学級担任等や養護教諭をはじめ、（　④　）(教育相談部等)と連携して組織的に支援に当たることである。

養護教諭　　その４

4　次の文は、平成29年告示の中学校学習指導要領「保健体育〔保健分野〕」の「２　内容」の一部である。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を書け。

ア　健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。
(エ)　喫煙、飲酒、（　①　）などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、（　②　）が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。
(オ)　感染症は、（　③　）が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、（　④　）を遮断すること、（　⑤　）の抵抗力を高めることによって予防できること。

5　児童生徒等の健康診断について、次の各問いに答えよ。

1　次の文は、公益財団法人　日本学校保健会が発行した「子供の運動器の健康－学校における運動器検診の手引－」に記載されている運動器検診の意義と役割について述べたものである。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を下の(ア)～(サ)からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

成長期にある児童生徒等の運動器に関しては、運動しすぎによる（　①　）や運動しないことによる（　②　）低下の二極化の問題がある。また、運動器の疾病･障害･異常・機能低下があっても、日常生活や学校活動のなかで見つけ出すことは困難である。これらの異常は本人及び保護者を含め気が付かないか、気が付いていても、その（　③　）に気付かず放置していることが多い。また、（　④　）で選手の人数が限られているため、異常に気が付いても友人関係を考えて隠している児童生徒等もいる。しかしながら、成長期の運動器の異常は放置すると成人になってからでは治療に困難を来たすことが多く、成長期に対処することが大切である。運動器検診を行うことにより、日常では気が付かない異常をチェックし、運動器の異常を早期に発見し、対処することにより、（　⑤　）に結びつけることができる。

(ア)　競技力の向上	(イ)　後遺症	(ウ)　早期治療
(エ)　体力・運動能力	(オ)　高齢社会	(カ)　少子化
(キ)　スポーツ外傷	(ク)　スポーツ障害	(ケ)　免疫・抵抗力
(コ)　瞬発力	(サ)　重大性	

2　次の文は、学校保健安全法施行規則第９条に示されている健康診断の事後措置における各号に定める基準についてである。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を書け。

学校保健安全法施行規則
（事後措置）
第９条　学校においては、法第13条第１項の健康診断を行つたときは、21日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第14条の措置をとらなければならない。
1　疾病の（　①　）を行うこと。
2　必要な（　②　）を受けるよう指示すること。
3　必要な検査、（　③　）等を受けるよう指示すること。
4　療養のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。
5　特別支援学級への編入について指導及び助言を行うこと。
6　学習又は運動・作業の（　④　）、停止、変更等を行うこと。
7　修学旅行、対外運動競技等への参加を制限すること。
8　机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
9　その他発育、健康状態等に応じて適当な（　⑤　）を行うこと。

6　食物アレルギーについて、次の各問いに答えよ。

1　次の文章は、アレルギー疾患について述べたものである。（　①　）～（　③　）に当てはまる語句を下の(ア)～(ク)からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。なお、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

アレルギーとは、本来人間の体にとって有益な反応である免疫反応が、逆に体にとって好ましくない反応を引き起こすことである。

最も頻度が多いのが（　①　）（免疫グロブリンの一種）によるアレルギー反応である。いわゆる「アレルギー体質」の人は、花粉や食べ物など本来無害なもの（これらがアレルギーの原因になるときアレルゲンと呼ぶ）に対して（　①　）を作ってしまう。そして、そのアレルゲンが体の中に入ってくると、皮膚や粘膜にある（　②　）細胞というアレルギーを起こす細胞の上にくっついている（　①　）と反応して、（　②　）細胞から体にとって有害な症状をもたらす（　③　）などの物質が出て、じんましんやかゆみ、くしゃみや鼻水などのアレルギー反応を起こしてしまうのである。

(ア)　IgA抗体	(イ)　マスト	(ウ)　ヘルパーT	(エ)　グルカゴン
(オ)　ヒスタミン	(カ)　アンモニア	(キ)　IgE抗体	(ク)　インスリン

2　食物アレルギーについて、学校の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に医師が作成する書類の名称を答えよ。

3　学校で「エピペン®」の管理を行う場合の保管の注意点について述べよ。

養護教諭　　解答用紙

受験番号　　番

【教科専門】

2 [21]

1	①	(エ) 3	②	(ア) 3	③	(オ) 3	④	(ウ) 3
2	慢性腎炎症候群 3							
3	①	蛋白 2			②	糖 2		
	③	試験紙法 2						

3 [16]

1	①	(エ) 2	②	(カ) 2	③	(イ) 2	④	(キ) 2
2	①	平常時 2			②	健康観察 2		
	③	主治医 2			④	校内組織 2		

4 [10]

①	薬物乱用 2	②	社会環境 2
③	病原体 2	④	感染経路 2
⑤	主体 2		

5 [20]

1	①	(ク) 2	②	(エ) 2	③	(サ) 2	④	(カ) 2
	⑤	(ウ) 2						
2	①	予防.処置 2			②	医療 2		
	③	予防接種 2			④	軽減 2		
	⑤	保健指導 2						

6 [13]

1	①	(キ) 2	②	(イ) 2	③	(オ) 2
2	学校生活管理指導表 3					
3	・光で分解しやすいため、携帯ケースに収められた状態で保管し、使用するまで取り出さない。 ・15℃～30℃で保存することが望ましく、冷所または、日光のあたる高温下等に放置しない。 4					